

日本劇作家協会 2024年度(令和6年度) 事業報告

1. 会員(2025年3月31日)

正会員:585名	入会:44名	復帰:3名
	退会:8名	除籍:2名
	逝去:2名	

賛助会員	団体:9団体
	個人:8名

2. 会合

①理事会	2回:4月21日、2月25日
②評議員総会	2回:5月30日(定時)、2月25日(特別)
③会員総会	1回:5月31日
④運営委員会	1回:4月21日

3. 育成、コンクール、セミナー

- ①第30回劇作家協会新人戯曲賞
後援:公益財団法人一ツ橋綜合財団)
6月～応募作受付と一次審査二次審査
11月25日に最終審査会(オンラインで非公開開催)、11月26日に受賞作発表
12月26日に授賞式(オンライン開催)
- ②戯曲セミナー
・2.5次元脚本コース 6月～9月(於 座・高円寺)
・対面コース+オンラインコース 10月～3月(於 座・高円寺+オンライン)
- ③出張戯曲講座(独立行政法人日本芸術文化振興会(以下 芸文振)助成事業)
「戯曲を書いてみよう!」
・7月 金沢能楽美術館(金沢市)
・8月 ミニシアター蛸蔵(高知市)
- ④公開講座(芸文振助成事業)
12月1日(於 座・高円寺)
・「演劇の現場でのハラスメントを考えるフォーラムシアター」
- ⑤長編戯曲の改稿講座(芸文振助成事業)
7月、9月、10月にオンラインで講座を開催
1月に受講生作品のドラマリーディングを収録・配信 (収録会場は人間座スタジオ(京都市))

4. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①定期的なドラマリーディングのワークショップ
1)東京「改稿サポートする輪。」:6月、7月、10月、12月、2月(於 座・高円寺)
2)大阪「月いちリーディング」:6月、10月(於 ACT cafe)
3)九州「月いちリーディング」:9月(於 エスプラッツホール(佐賀市))、2月(於 M★ういんぐ(宮崎県三股町))
4)東北「月いちリーディング」:11月(於 盛岡劇場ミニホール(盛岡市))
- ②関西版月いちリーディングスペシャル企画「劇作バトル!」1月25日(於 ドーンセンター(大阪市))
- ③「リーディングフェスタ2024」
11月30日(於 座・高円寺)
・「扉」から連想した短編戯曲リーディング
※以上、いずれも芸文振助成事業

5. 出版・広報

- ①戯曲オンデマンド出版・電子書籍「二十一世紀戯曲文庫」18タイトル、販売継続
- ②戯曲英訳出版(芸文振委託事業):2月に「ENGKEI:Japanese Theatre in the New Millennium 10」刊行
- ③会報(『ト書き』)の発行 1回:71号(3月)
- ④公式noteに「連載エッセイ 私の執筆スタイル」「オンラインで読める戯曲まとめ」などを掲載
- ⑤会員メールマガジン、SNS、Web サイト更新などの継続

6. 調査、資料収集、アーカイブ

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)の蔵書(主に戯曲)収集に協力
- ②戯曲デジタルアーカイブの公開継続、上演問合せなどへの対応
- ③戯曲デジタルアーカイブ委託事業(EPAD委託事業)
・収蔵戯曲137作品追加
・上演許諾システム改修
・フライヤーの製作と配布

7. 協力、パートナーシップ、後援

- ①一般財団法人光文文化財団主催の第28回鶴屋南北戯曲賞に協力
- ②座・高円寺の「2024年度日本劇作家協会プログラム」11企画が上演(4月～2月)
- ③座・高円寺の「2026年度日本劇作家協会プログラム」の募集と推薦
- ④座・高円寺劇場創造アカデミーに名義協力
- ⑤「四季の里演劇祭」(開催地 茨城県小美玉市)に名義後援
- ⑥白河文化交流館コミネス指定管理者 特定非営利活動法人カルチャーネットワークの「第10回ハイスクール劇王 高

- 校生短編演劇競技大会」に名義後援
⑦公益社団法人国際演劇協会日本センターの「紛争地域から生まれた演劇16」に名義協力
⑧公益社団法人国際演劇協会日本センターの「次代の翻訳者育成セミナー(ワールド・シアター・ラボ)」に名義協力
⑨吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2025」に名義後援
⑩緊急事態舞台芸術ネットワークへの賛同継続
8. 国際交流
①日韓演劇交流センター、英訳戯曲集贈呈などの継続活動と海外からの問い合わせなどに対応
9. 著作権、契約
①戯曲の著作権や上演許諾などに関する問い合わせや個別事案への対応を継続
②劇作家のための著作権講座(6月)
③会員向けシンポジウム『引用』『利用』『原作』『オマージュ』…? 加害者にも被害者にもならないために」を開催
(7月 於 世田谷文化生活情報センター)
10. 高校演劇
①大会審査員講評ガイドライン作成(研究)
②外部指導員の指導等、劇団や劇作家協会全体との連携のガイドライン作成(研究)
③震災高校演劇アーカイブ継続
11. 支部、地域交流事業
①北海道支部;
1) 希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」に協力
2) 高校生のための劇作ワークショップ成果発表に協力
②東北支部;
1) 上記4. で記載の盛岡市での「月いちリーディング」を運営
③東海支部;
1) 第9回俳優A賞を主催
2) 「ナビイチリーディング」を共同主催
④関西支部;
上記3. と4. で記載の「月いちリーディング」「劇作バトル!」「長編戯曲の改稿講座」を運営
⑤中国支部;
1) 第十回中国ブロック劇王決定戦を主催
⑥九州支部;
1) 上記4. で記載の佐賀市と宮崎県三股町での「月いちリーディング」を運営
⑦沖縄支部;
1) 公演「トイレはこちら」を共同主催
12. ハラスメント対応、防止啓発
①個別事案に対する対応を継続
②講師等向けハラスメント防止講習の実施(7月)
③ハラスメント対応委員会による個別事案対応準備を開始
④上記3で記載の「演劇の現場でのハラスメントを考えるフォーラムシアター」を実施
13. その他
①令和7年度文化庁新進芸術家海外研修制度の応募受付 → 応募者なし
14. 特記
①2月25日、特別評議員総会において、2025年3月1日から1年間の理事7名を選任。
理事:瀬戸山美咲、長田育恵、土田英生、鹿目由紀、桑原裕子、高羽彩、古川健
②2月25日、特別評議員総会で選任された理事による理事会において、2025年3月1日から1年間の代表理事(会長)と副会長を選定。
代表理事(会長):瀬戸山美咲
副会長:長田育恵、土田英生
※評議員選挙が実施されない年なので、特段の事情がない限り、理事、会長、副会長は再選される。

以上